

2016年1月 8日

島本町長 川口 裕 様

日本共産党島本町会議員団

河野 恵子

佐藤 和子

2016年度 島本町 当初予算と施策に対する要望書

安倍自公政権のもと、「生涯派遣・正社員ゼロ」の労働法制改悪により、若年層の雇用環境をはじめ、国民の生活はますます厳しさを増しています。

島本町にとっても、消費税8%増税と食材の物価高騰の影響による小学校給食費の値上げの動きや、子ども子育て新制度導入で町立幼稚園保育料値上げの実施など、子育て・教育への負担増は計り知れません。国・府に対しては、暮らし・福祉の負担増をやめて、賃金を上げ、雇用のルール強化とともに、非正規の正社員化など人間らしい雇用を保障することこそが求められています。

島本町においては、民間保育園建設、子ども医療費助成の拡充、就学援助制度の堅持、来年度から中学校給食を実施するなど、子育て支援、住民福祉の向上に努めていることは、私たちも認識しているところです。

島本町の2016年度予算編成と町政運営にあたり、日本共産党島本町会議員団は、暮らしと子育て支援・福祉、中小業者の営業を守り、産業振興を図る立場から、下記の重点要望を実現されるように強く求めるものです。

記

1. 地下水中心の水道、まずは飲み水100%をめざし、企業団水道の受水量をさらに減らすこと
2. 町のごみ処理の広域化をすすめること
3. 清掃工場及び衛生化学処理場の広域行政等の議論やこの間の経緯について、及び第三小学校耐震化についての住民説明会を開催すること。

4. JR 島本駅西側地域のみでなく、町全域でブロック別・まちづくり懇談会を開催し、防災・バリアフリー及び商工業活性化などの議論に取り組むこと。
5. 教職員を増員し、35人以下学級を実現すること。支援学級の児童が元学級にもどって授業を受ける際に40人を超えることの無い学級編成をすること。
6. 子ども医療費の助成を増やして、通院も入院も中学校卒業まで、所得制限なしで、実施すること。
7. 町立保育所保育士の正規職員の採用を増やすこと。臨時職員の待遇改善や、過密化にかかる施設設備の改善を図ること。
8. 町内保育士確保策として、箕面市の学生支援補助金・生活支援補助金、千葉県船橋市の給与の上乗せ補助・宿舍借上げの家賃補助のような施策を講じること。保育士配置については現行の町基準を堅持すること。
9. 第四保育所の耐震化をすること。第三小学校敷地内の新築ではなく町有地での新設の対応とすること。
10. 国民健康保険の保険料連続値上げストップ、一般会計からの繰り入れの検討とともに特定健診項目の充実、人間ドッグ助成など予防に力を入れること。
11. 介護保険料・利用料の独自減免制度をつくること。
12. 介護認定で要支援1～要介護1までの人もタクシー移送サービスを受けられるようにすること。また、チケット制など使いやすい制度にすること。
13. 低床型のふれあいバスをもう1台増やすこと。台数・便数を増やし、利用者の制限を外すこと。土日や祝日も運行すること。
14. 太陽光発電システム設置補助制度や、住宅リフォーム助成制度などをつくること。
15. 全町的に町道の危険箇所の点検をすること。特に、建設工事により大型車両の通行が頻繁な町道については、点検を強化すること。
16. 府道西京高槻線の小学校通学路には、ガードレールや車道に凸凹を設けるなど、スピード規制を図ること。

17. JR 山崎駅のエレベーター設置などバリアフリー対策を推進すること。
18. 西谷踏切を大型車両の通行が可能になるよう改善すること。
19. 桜井村踏切は拡幅し、「開かずの踏切」の状況を改善すること
20. 府道西京高槻線の引き続きの歩道確保、グリーンベルトや実線の区分けによる、安全対策の拡充を。
21. 府道西京高槻線の小学校通学路には、ガードレールや車道に凸凹を設けるなど、スピード規制を図ること。
22. 河川の浚渫や、山林の保全や落石防止など防災予算の増額に務めること。
23. 町道東大寺水無瀬鶴が池幹線で、名神高速道路高架下の交差点に信号機や横断歩道設置など歩行者の安全を図ること
24. J R 線在来線の騒音基準を設けること。
25. 国道 171 号線新幹線側の歩道の拡幅と段差の解消へ改善すること。
26. 国道 171 号線の交差点（江川 1 丁目 16 付近・府営住宅集会所前）、一方通行の標識の表示が見えにくいため、改善すること。
27. 国道 171 号線の江川 2 丁目 2 付近 押しボタン式でない信号機に変更すること。
28. 防災・浸水対策を強化し、学校など公共施設の雨水貯留槽などで内水氾濫対策を講じること。
29. 府道西京高槻線の水無瀬橋付近の交差点、府道柳谷島本線指手橋交差点の信号機等を LED 化し、見やすいものにすること。
30. 水無瀬川河川敷(山の瀬橋・広瀬 3 丁目付近)の降り口が、幼児・児童が出入りし危険なため、改善すること。

以 上